

## 2021年度第1回教育課程編成委員会 議事録

日時 2021年6月15日(火) 14:00～

場所 旭美容専門学校 3号館

出席委員 株式会社ふらいむ シニアマネージャー 伊藤元氏  
有限会社ラボ・ビューティ取締役 佐々木昌美氏  
Nail&cosmetic TOBIOKA オーナーネイリスト 前田佳苗氏  
株式会社ブランシェ 取締役 清水克真氏  
旭美容専門学校 校長 長谷川雅敏  
旭美容専門学校 教務部長・美容科学科長 河村久美(司会・議長)  
旭美容専門学校 トータルエステティック科長 豊田そのみ

オブザーバー出席 株式会社ふらいむ 代表取締役社長 岩崎哲司氏  
書記 旭美容専門学校 事務 駒倉美佳

### 議事次第

#### 1. 開会

教務部長河村から開会の挨拶がなされ配布資料の確認をした。

#### 2. 学校長挨拶

校長長谷川雅敏より教育課程編成委員会がスタートし色々ご指導を頂くなかで、ご提案を頂き業界と直結した新しい取り組みもスタートしたとお礼の挨拶

#### 3. 委員の紹介

前回書面出席であった Nail&cosmetic TOBIOKA オーナーネイリスト 前田佳苗氏より自己紹介  
その他委員は書面を持って紹介

#### 3. 議事

##### ①教育課程について

まず会議に先立ち豊田科長が前回の委員会で頂いた意見について確認

- ・「チームで学ぶことの重要性を学んでもらっている、職場で生きる指導である」
- ・「エステ・ネイル業界は社会人の活躍が期待される職場である、社会人が増える取り組みを素晴らしい
- ・「エステティシャンは販売(営業)も大切な仕事だという意識付けをすることで現場に入ってから戸惑うことが軽減される」
- ・「社会人学生が多いということは独立志向も強い学生も多いと思うので独立に向けたサポート

授業の導入も必要」

- ・「スチューデントサロンでは集客するための工夫や販売方法などの指導の充実させるべき」といった貴重なご意見を頂いたと総括

## ②現状報告

続いて豊田科長より前回委員会以降の当科の取組みと当期カリキュラム、教科・教科内容を説明

- ・「ポートフォリオにて個人目標設定とグループワークでクラス目標を同時設定させている
- ・スチューデントサロンではお客様アンケートの実施とオリジナル化粧品製造販売を継続している
- ・昨年よりネイリストとして必要なジェル中級資格を自校開催、卒業後3月末受験となったがではあるがネイリスト1級資格にもチャレンジさせ合格者も出ている
- ・La page SNS(インスタ)コロナ禍の中、学生達から SNS で存在を知ってもらおうと声があがりスタートさせ、新クラスでも継続している。
- ・職業講話の実施 岩崎講師 企業オーナーによる特別講座
- ・ビューティアドバイザーより販売の実践講座の実施
- ・学生プレゼン（5月29日学生ステージ・ショーにて）エステ科の特徴と魅力について
- ・マナパスへの登録
- ・スチューデントサロンにてホームケアアドバイス（カウンセリング）動画の制作

## ③今後の課題についてご意見を頂いた

- ・販売のカウンセリングのときのお客様の心理や、よい接客など販売実践指導をスチューデントサロンオープン前に学ぶ機会をもうける

販売への苦手意識を和らげるためにホームケアアドバイスの動画を学生達が制作しお客様に勧めやすいように工夫する

- ・サロン体験学習（ネイルケアマシーン授業・エステサロン人気メニュー技術）  
(サロンで困らないような技術力を身に付けさせる)
- ・SNSの活用（集客方法の学び）
- ・ITを活用した授業（動画やオンラインでの授業やクラスルームで課題(小テスト)の実施)
- ・販売方法と集客へのプレゼン(学生達が考え実行し結果が出るよう工夫)

## ②カリキュラムと教科・教科内容について意見交換、ご意見を頂いた

- ・納得からのチャレンジ・・・学生は納得しないと次のステップに進んでいかないから、難しい試験や資格であるとするなら、その資格を取りたいと真剣に思わせること、将来にどうつながっていくかまで理解したうえで資格取得に挑戦させることが大切である
- ・欲のない現代の若者に何が欲しいのかという希望を考えさせ、美容師・エステティシャンをみんながなりたいたいと思う職業にするために頑張っていく意識つけ
- ・一年制で学ぶ学科であり目標や目的を就職に切り替えていく時期が難しい。6月で将来を決め

るのはなかなか厳しい状況。学生の進路に対する取り組み（サロンの雰囲気や内容など、学生に先生から説明するなど、寄り添って活動するといったのでは）

- ・資格取得だけでなく、協力して努力していく人間力を育てていくことが大切。旭らしさを（地域色）を出していくこともいいと思う
- ・エステはマシンを使って施術することも増えてきている⇒すぐに新しいマシンが出てくる⇒エステ体験をすることを勧めする⇒最新のマシンを体験し、ノウハウを吸収することができる
- ・体の知識とお客様に愛される力があればお客様はつくと思う。お客様体験をして現場を知る、雰囲気を知ること。そしてどういうエステティシャンが愛されるのか⇒それで今後の人生が変わる⇒それを学ぶ機会
- ・ネイルの授業に対しては社会に出たときに困らないように技術を教えてくれていると思うが、躓くのはカウンセリング。だから旭のトータルエステティック科のチューデントサロンはとていい機会であり、授業だと思う。一年制ならではのカリキュラム  
ネイルはマシンを使っているほうが就職に役に立つ。作業の効率化や、最近のネイルオフで主流になりつつある。セルフネイリストも増えてはいるが、続けられる人は少ない。サロンの技術力がきちんとしていけばおのずとお客様はかえってくる
- ・美容科のビューティスペシャリストコースについて  
アイリストという職業について。将来的になくなるかもしれない職業であると意識しつつ、エステや美容などと組み合わせ、トータルケアをしていけるようにしている。価格競争も激しくなってきた
- ・コロナによる影響も美容サロンよりある

### ③教育課程編成委員会意見シートへのご記入

発言に加え意見シートでもご意見を頂いた

該当部分	検討事項	ご意見等
第2条(2)	カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早いうちから目標・目的を持たせてあげる工夫を、心を<u>捨</u>う時間をとる(伊藤氏)</li> <li>・一年間でできる内容は充実していると思うので、あとは学生が現場で働けるイメージを持てる内容、職場体験など(佐々木氏)</li> </ul>
第2条(3)	授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛されるための教育があれば嬉しい(岩崎氏)</li> <li>・動画の活用、snsの積極的な使い方(伊藤氏)</li> <li>・sns等の発信についての学びを(佐々木氏)</li> </ul>

第2条(3)	その他に関する事項(スチューデントサロン、課外授業、検定対策など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スチューデントサロンを活用して、エステティシャンとしての基礎の勉強、接客マナーなどを強化していただきたい(佐々木氏)</li> <li>・より具体的な他意見を勧めていく料金を頂戴する責任など、社会に出る前に経験できることは貴重。料金を頂戴する責任など、社会に出る前に経験できることは貴重だと思います、失敗体験や成功体験をたくさんさせてあげたい(前田氏)</li> <li>・より具体的な体験をさせ進めていく、スチューデントサロン活動のブラッシュアップ(伊藤氏)</li> </ul>
第2条(4)	業界における人材の専門性に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においてエステティシャンさいう存在の大切さは?お客様に寄り添いストレスを軽減できるような人材に育てていただきたい(佐々木氏)</li> <li>・これからは独自性や優位性の高いエステティシャンが生き残っていくと思います。個性を大切にのびのび育ててあげてください。(佐々木氏)</li> </ul>

## 2. その他

### (1)次回会議の予定

添付書類を期日までにファックスまたは郵送で提出。(2022年3月開催予定)

### (2)閉会の挨拶

貴重なご意見をありがとうございました。

学校もコロナで大変でしたが、学生の退学率は減少しております。ネイル検定も一級まで取得したり、新たな資格取得に向けて頑張っております。これからも貴重なご意見をいただければと思います。と校長より閉会の挨拶がなされた。